

産婦人科研修

◇ 研修目標および特徴

産婦人科領域の基礎的診療知識を身につける

◇ 研修内容

1) 正常妊娠

妊娠の診断、週数と予定日の計算、尿中妊娠反応の実施、つわり、胎動の出現時期、妊娠中の使用可能な薬剤についての知識

2) 正常妊婦の診察

妊婦の定期健診、子宮底長の測定、超音波検査により胎児計測を行い、胎児の評価が出来る。

3) 分娩時、産褥期の管理

分娩経過の判断、妊娠中毒症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤の診断、陣痛・胎児心拍の計測及び異常の診断、帝王切開術の適応、児娩出の介助、臍帯・胎盤の処置、会陰切開と縫合、軟産道損傷の有無の診断、子宮収縮状態の把握、Apgar score

4) 新生児

新生児の日常的ケアができる、スクリーニング検査

5) 婦人科診察

子宮の大きさ、子宮筋腫の診断ができ、子宮頸部、膣部の細胞診、超音波検査により子宮、卵巣の異常を判断できること

6) 婦人科疾患の取り扱い

緊急疾患(子宮外妊娠、卵巣出血、骨盤内炎症疾患)の診断

更年期障害の知識

悪性腫瘍の治療指針の知識

7) 不妊症の知識

◇ 指導スタッフ(卒業年度、認定医、指導医)

志岐 保彦 平成 5 年卒	日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医、日本婦人科腫瘍学会腫瘍専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医（腹腔鏡・子宮鏡）、技術審査員、日本内視鏡外科学会技術認定医、母体保護法指定医、近畿産婦人科内視鏡研究会評議員
田中 佑典 平成 21 年卒	日本産科婦人科学会専門医、日本癌治療学会認定医
白石真理子 平成 22 年卒	日本産科婦人科学会専門医
出口 朋実 平成 24 年卒	日本産科婦人科学会認定医

實森万里子 平成 24 年卒 日本産科婦人科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

志村宏太郎 平成 23 年卒

◇ 診療実績（年間）、診療設備

分娩数 220 件、帝王切開 48 件

婦人科手術数 480 例

子宮頸癌 23 例、子宮体癌 38 例、卵巣癌 25 例、

その他悪性腫瘍 7、子宮頸部上皮内腫瘍 100 例

子宮筋腫（開腹） 50 例 卵巣腫瘍（開腹） 20 例

腹腔鏡手術 250 例 子宮鏡手術 60 例

超音波診断装置、子宮鏡、腹腔鏡、コルポスコープ、レゼクトスコープ、リネアック、ラルストロン、高周波電気メスキューサー、マイクロウエーブ

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	病棟	病棟
火	手術	手術
水	病棟 回診 手術	症例検討会 子宮卵管造影 手術
木	手術	手術
金	手術	手術

◇ 専門医、認定医、教育病院など学会の指定状況

日本産婦人科学会卒後研修指導施設

日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設